

教育委員会事務点検・評価報告書

(平成29年度事業対象)

平成30年 6月28日

竹原市教育委員会

目 次

1	教育委員会の事務の点検・評価制度について	1
2	平成29年度教育委員会議開催実績	2
3	評価の方法	5
4	平成29年度事業の点検及び評価	7
	(1) 学校・教育環境の充実	
	(2) 生涯学習の推進	
	(3) スポーツ・レクリエーションの振興	
	(4) 文化・芸術の振興	
	(5) 青少年健全育成の推進	
	(6) 人材育成の推進	
5	評価委員の点検・評価	17
6	参考資料	19
	I 平成29年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果	
	II 平成29年度 新体力テスト結果等	
	III 平成29年度 図書館・美術館利用状況等	

1 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年度から、全ての教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることも規定されています。

竹原市教育委員会では、この法律に基づき、教育委員会の事務の点検・評価を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化を進めてまいります。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (平成19年6月27日一部改正)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成29年教育委員会議開催実績

教育委員会 開催年月日	開催回数 定例臨時別	議案 番号	件 名
H29. 1. 26	第1回 定例会	1	竹原市教育委員会委員の辞職の同意について
		2	平成27年度準要保護児童及び生徒の認定について
		3	竹原市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令案
		報告 協議	小中一貫教育について
H29. 2. 9	第2回 定例会	4	職員の任免その他の人事について
		5	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案）
		6	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成28年度教育委員会関係補正予算案）
		7	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成29年度教育委員会関係当初予算案）
		8	平成29年度竹原市学校教育ビジョンについて
		報告 協議	小中一貫教育について
H29. 3. 16	第1回 臨時会	9	平成28年度末・平成29年度始教職員の人事について
		10	竹原市教育委員会永年勤務職員表彰について
H29. 3. 23	第3回 定例会	11	職員の任命その他の人事について
		12	竹原市立公民館主事の任命について
		13	竹原市嘱託学芸員の委嘱について
		14	市立竹原書院図書館長の任命について
		報告 協議	小中一貫教育について

3 評価の方法

(1) 施策・事業の名称

前年度の教育要覧に記載された施策・事業について、6つの項目に分けて記しています。

(2) 内容

施策・事業の主要目標及び事業内容を記しています。

(3) 取組結果と自己評価

「取組結果」は、前年度の評価委員からの意見を踏まえ、ねらいや目標達成のためにどのような取組を行ったか、その結果どのような成果があったかを整理した上で、「自己評価」として、次の4点から総合的な評価を行っています。

① 必要性

現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

教育施策や運営方針にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 目標達成度

目標の達成状況を評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかとも検討します。

④ 総合評価

各評価項目を勘案し、4段階総合評価を行います。

A	ねらいや目標は、十分達成された。
B	ねらいや目標は、ほぼ達成された。
C	ねらいや目標は、十分達成できなかった。
D	ねらいや目標は、まったく達成できなかった。

※ 平成28年度事務点検評価報告書の評価委員の意見は次のとおりでした。

- 平成30年4月から吉名学園が新たな学校種である義務教育学校として開校するが、小中学校9年間の連続した一貫教育である中で、転校、転入などの事態も想定した編成が望まれる。小中一貫の推進に当たっては、知・徳・体の一層の向上を目指すとともに、吉名学園としての特色を出せるような取組が大切である。
- 外国語指導助手(ALT)を平成28年9月から1名増員して4名の配置としたことで、外国語活動における学習環境の充実が図られ、各学校に対するALTの関わりが多くなり、

教員だけでなく児童生徒との信頼関係も深まってきている。また、児童生徒は、外国語に大変興味関心を持ち、楽しんで授業に取り組んでいる様子が見受けられることから、一定の成果はあると評価できる。今後も外国語の教科化に向けて、充実した取組をして欲しい。

また、ALTを活用し、今後、市独自の英語検定及びイングリッシュキャンプを実施することとしているが、外国語に対する興味を多くの児童生徒が持つきっかけづくりとなるよう望んでいる。さらには、児童生徒との関わりを大事にした、日々の授業の積み重ねによりコミュニケーション能力が伸びていくことを期待している。

- 平成28年度においては、不登校児童生徒の学校復帰へ向けての学習支援等や、中学3年生の進路指導など、保護者、学校及び関係機関と連携を持ち、確実な進路決定に向けた指導支援を行うことができています。その成果の一つとして、平成28年度末時点で、全ての生徒が進路を決定できたことは評価できる。
- 美術館の利用状況について、年間を通して見ると、多くの来館者がいるようだが、今後、更なる情報発信を行い、誘客に努めることも重要である。
- 生涯学習の拠点である各地域の公民館においては、かなりの数の教室が開催されており、充実していると感じ取れる。ただし、活動への参加者が一定の層に固定化されている傾向が見られるので、世代や性別に関係なく活動に参加でき、絆を深める場所となるよう期待する。
- 教育委員会は、教職員、指導者の一人ひとりの能力を伸長する研修を行っている。今後の教育・学習活動のさらなる質的向上が期待される。

(4) 課題と平成30年度の取組方向

項目ごとに課題と平成30年度の取組方向を記しています。

(5) 評価委員による評価

3名の学識経験者の方による外部評価を行っています。

4 平成29年度事業の点検及び評価

(1) 夢をもち、子どもが輝く教育の実現を目指して、「就学前教育」「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校」「充実した教育環境づくり」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
小・中学校施設改修事業 19,870千円	<p>【主要目標】 建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んだ学校施設の計画的な改修を図る。</p> <p>【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール濾過機修繕工事、水道量水器取替及び屋内運動場屋根防水改修工事（中通小）を行う。</p>	<p>学校施設の計画的な改修を図り、児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール濾過機修繕工事（大乗小・竹原西小・荏野小・竹原中・賀茂川中）、水道量水器取替（賀茂川中）及び屋内運動場屋根防水改修工事（中通小）を行った。</p> <p>A</p>	<p>学校施設は、建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んでいる。児童生徒の安全な教育環境を確保するため、今後も計画的な改修を進めていく。学校からの修繕要望や各種法定検査により、指摘のあった事項については、迅速に対応する。</p> <p>平成30年度は、竹原小給排水管敷設替工事に係る実施設計及び竹原中学校倉外壁改修工事に係る実施設計を行う。また、小学校遊具の改修工事を行う。</p> <p>平成29年度で完了した。</p>
小中一貫教育推進事業 4,653千円	<p>【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】 吉名中学校区において、一体型小中一貫教育を推進するため、準備委員会において、校歌、通学路等を協議し、決定する。また、吉名小学校及び吉名中学校の閉校式を行う。「吉名学園」の開校式及び落成式を行う。</p>	<p>吉名中学校区において、設立準備委員会（3回開催）を行い、校章・校歌・通学等の協議を行った。また、設立準備委員会日より（No.7～No.9）を発行し、保護者・地域に周知を図った。</p> <p>また、2月に吉名小学校及び吉名中学校の閉校式を行った。</p> <p>A</p>	<p>平成29年度で完了した。</p>
小中一貫校施設整備事業 373,983千円	<p>【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】 吉名中学校区において、平成30年度の一体型小中一貫校開校を目指し、前年度に引き続き整備を行う（校舎増築、校舎大規模改修、屋内運動場、プール改修、小学校遊具設置、外構工事等）。</p>	<p>平成28年8月から行っている「吉名学園」整備工事が平成30年1月末に完了した。3月末には、吉名小学校から「吉名学園」への物品移転を行い、開校の準備を行った。</p> <p>A</p>	<p>平成29年度で完了した。</p>
学校給食運営事業 90,440千円	<p>【主要目標】 市内全小・中学校に安全・安心な学校給食を提供するとともに、食育を推進する拠点として運営を行う。</p> <p>【事業内容】 平成21年度に学校給食センターを整備し、平成22年9月から民間委託による調理業務を実施している。平成24年度から市内の全小・中学校への給食提供を開始し、13校に約2,000食を提供している。</p>	<p>学校給食センターから市内全小・中学校に安全で安心な学校給食を提供するとともに、給食を教材とした食育（給食時間の学校訪問指導・給食試食会の開催等）や、給食に積極的に地場産物を取り入れることで地産地消の利点を指導した。</p> <p>今年度は、吉名学園開校に伴い配送におけるプラットフォームの改修、配膳方法の見直しなどを行った。</p> <p>A</p>	<p>安心安全な給食の提供及び地産地消については概ね目標を達成できた。引き続き学校給食を食育の教材として、児童生徒の食への興味関心が高まる取組を実施していく。</p>
食育推進事業 344千円	<p>【主要目標】 学校、地域及び行政が連携協力し、学校給食を教材として、日本の特徴である四季折々の「旬」や、地産地消の利点を学びながら、食事の準備ができる子を育成するため、家庭での調理体験や食材選びなどの実践力を高める食育推進を図る。</p> <p>【事業内容】 地場産物を使用した料理コンテストの実施。優秀作品等レシピ集の作成・配布。</p>	<p>家庭を巻き込んだ継続的な食育推進として、家庭での調理や、家庭の食事の継承、家族との共食の大切さに気づくことなどを目指し、料理コンテストを実施したかったが、体制が整わず実施できなかった。</p> <p>健康福祉課が策定する食育推進計画の見直しに当たり、連携協議を行った。</p> <p>B</p>	<p>家庭で調理をする機会を増やすため、学校給食で人気のあるレシピを紹介するなど食育に関する意識を高める取組を行う。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
外国語指導助手配置事業 1.2, 1.86千円	【主要目標】 幼児・児童生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導における資質向上を図る。 【事業内容】 A.L.T (外国語指導助手) を4名雇用し、小学校の外国語活動又は中学校の英語科の授業で教員の補助をする。	市内幼稚園1園、小学校9校、中学校4校にA.L.T (外国語指導助手) を4名配置し、児童生徒の英語力とコミュニケーション能力の向上、国際理解の充実を図ることができた。また、A.L.Tとのチームティーチングを行うことを通して、小・中学校の外国語活動及び英語教育の教員の指導力向上を図ることができた。 さらに、外国語教育推進リーダー研修にA.L.Tも参加させることにより、教員のみならずA.L.Tの指導力向上にもつなげることができた。	学校において、授業改善に向けた教員とA.L.Tとが連携する時間の確保が重要である。A.L.Tの勤務時間を調整し、効果的な連携を進めていく。
小・中学校教育用ICT整備事業 2.3, 5.93千円	【主要目標】 ICT機器を活用した思考力・表現力を育てる授業の充実を図る。 【事業内容】 タブレット型端末整備 (利用場所：パソコン教室、普通教室ほか) パソコン台数 小学校：244台、中学校：140台 電子黒板等ICT機器整備 (利用場所：パソコン教室、普通教室ほか) 電子黒板台数 小学校：49台 中学校：22台	平成21年度から電子黒板の整備を推進し、ICT活用教育に重点的に取り組んできた。更なる発展を目指し、タブレット型端末の導入に向け、市内2校において実証実験を行い、平成27年度に、タブレット型端末及び授業・学習支援ソフトウェアを市内小・中学校の全てに整備した。 本年度も定着期として、教員がタブレット型端末の効果的な活用方法を習得できるように、ICT支援員を1名配置した。また、各校のICT活用教育推進リーダーを対象とした年に3回の研修会や指導主事による学校訪問指導の実践的指導を通して、ICTを活用した児童生徒の思考力を育てる授業の充実を図ることができた。 その結果、公開研究会ではタブレット型端末を活用した授業が行われ、分りやすい授業の実践への効果が確認された。	引き続き電子黒板やタブレット型端末の活用を通じ、児童生徒が主体的・協力的に学び、思考力や表現力等を向上させるように、取組を推進していく。
「英語力向上による未来の人材育成」事業 7.11千円	【主要目標】 児童生徒の英語力を育成することで、グローバル化社会で活躍できる人材を育成する。 【事業内容】 ○竹原英語チャレンジ 小学校第5・6年生及び中学校第1学年生徒を対象に、英語力(リスニング、スピーキング)を問うテストを行い、英語によるコミュニケーション能力を見取り、英語への興味関心を高め、英検へ向けた動機付けとする。 ○イングリッシュキャンプ 市内の小学生5年生から中学3年生(約30名)を集め、1泊2日の日程で、身に付けた英語力を生活の中で活用することを目的とした、イングリッシュキャンプ(英語だけの生活)を実施する。英語を身近な言語にするとともに、英語に対する興味関心を持たせ、さらに自身の英語力を高めようとする態度を育てる。	小学校第5・6年生及び中学校第1学年生徒を対象とした英語力を問うテストと、小・中学生30名と外国人で1泊2日を過ごし英語力を生活の中で活用する。 竹原英語チャレンジでは、各学年の正答率は小学校第5学年96%、第6学年92%、中学校第1学年88%であった。児童生徒は、基礎的な英語の聞く力や話す力が身に付いてきており、英検へチャレンジしようとする意欲につながると考える。 イングリッシュキャンプでは、事後アンケートでは、「英語を使って話したり、活動したりするのは楽しかった」「もっと英語を勉強したい」「学校の英語の授業が楽しくなった」等の記述が見られ、英語に関する興味関心が高まったことが分かった。	イングリッシュキャンプについては、英語で表現する力や使用する語彙に差があるため、平成30年度は対象を小学生と中学生に分けて実施し、興味関心の向上に加えて英語による表現力の向上に効果的な内容へ改善を図る。 竹原英語チャレンジについては、平成30年度は話すこと・聞くことに加えて書くことについても含んだテストを行い、書くことへの興味関心を持たせるとともに自信を持たせるよう取り組む。
理科補助員配置事業 4.05千円	【主要目標】 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに、教員の理科授業に関する指導力を向上させる。 【事業内容】 理科が得意な人材を小学校理科授業(5・6年生)に活用し、観察・実験活動等における教員の支援や、効果的な実験等の演示や体験活動などを行う。	市内の小学校2校(中通小学校第6学年、東野小学校第6学年)に、1名の理科観察実験アシスタントを配置した。 各校とも理科室や理科準備室の整備及び理科授業における観察・実験の準備、補助や担当教員への観察・実験に関する具体的なアドバイス等をいただいた。また、授業においては、観察・実験における安全面確保のための補助や問題解決へと導くための子どもへのアドバイス等もしていた。 理科観察実験アシスタント配置学校の児童アンケートでは、90%以上の児童が「自分たちで観察実験するようになった」「見通しをもって観察・実験を行った」と回答しており、観察・実験を通して主体的に課題を解決していく姿勢や意欲的に学習に向き合う姿が見ることができた。また、昨年度まで25%いた「理科の授業を楽しみたいと感じていなかった」児童が、今年度14%になり、多くの児童が理科観察実験アシスタントによる理科授業支援を通して、「理科の授業が楽しい」「理科の授業がより分かった」と実感するようになった。	理科の授業における課題発見・解決学習を通して児童の問題解決力は育ってきている。引き続きその中核となる観察・実験における児童への細やかな支援を行うとともに、教員の観察・実験等に係る指導力の向上を図っていく。

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
小学校公開授業研究会推進事業 1,509千円	<p>【主要目標】 小学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 総合的な学習、各教科及び各領域での教育公開研究会を開催する。</p> <p>【実施校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 忠海小学校 (11月2日) ○ 大乗小学校 (10月6日) ○ 竹原小学校 (10月12日) ○ 中通小学校 (10月18日) ○ 竹原西小学校 (9月26日) ○ 東野小学校 (9月22日) ○ 荘野小学校 (10月4日) ○ 仁賀小学校 (9月28日) ○ 吉名小学校 (10月11日) 	<p>市内小学校9校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。</p> <p>各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、確かな学力を育成するための授業改善に向け、協議を深めることができた。また、電子黒板やタブレット型端末等のICT機器を積極的に授業に取り入れ、学力向上に向けた効果的な活用について提案した。組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができている。</p> <p>さらに、広島版「学びの革新」アクション・プランの実現に向け、課題発見解決学習を位置づけ授業改善に取り組んだ。</p>	<p>児童の学力等の実態を把握し、学力向上、授業改善に向けた各校の特色ある研究実践を推進する。また、教育研究指定校における先進的な実践を普及させ、市内全体にその取組の成果が浸透させていく。</p>
中学校公開授業研究会推進事業 449千円	<p>【主要目標】 中学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基礎学力の定着を図るため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 忠海中学校 (11月2日) ○ 竹原中学校 (10月13日) ○ 賀茂川中学校 (10月17日) ○ 吉名中学校 (10月11日) 	<p>市内中学校4校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。</p> <p>各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、確かな学力を育成するための授業改善に向け、協議を深めることができた。また、電子黒板やタブレット型端末等のICT機器を積極的に授業に取り入れ、学力向上に向けた効果的な活用について提案した。組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができている。</p> <p>さらに、広島版「学びの革新」アクション・プランの実現に向け、課題発見解決学習を位置づけ授業改善に取り組んだ。</p>	<p>生徒の学力等の実態を把握し、学力向上、授業改善に向けた各校の特色ある研究実践を推進する。また、教育研究指定校における先進的な実践を普及させ、市内全体にその取組の成果が浸透させていく。</p>
学校緑化推進事業 662千円	<p>【主要目標】 幼・小・中学校において学校緑化を推進し、学校の美化や景観の向上を促し、心に安らぎと潤いのある教育環境を創出するとともに、幼児・児童生徒への環境に対する関心を高める。</p> <p>【事業内容】 幼児・児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとともに、家庭をまきこんだ取組に広げる。</p> <p>【実施校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼・小・中学校全校 	<p>市内小中学校において、年間を通して、計画的に緑化活動に取り組み、学校の美化や景観の向上を通して児童生徒の心の安らぎと潤いのある環境を創出することに努めた。学校部門では、児童生徒の主体的な活動による緑化活動が多く見られるようになり、家庭部門では、市内小・中学校から123点の応募があり、学校での取組を家庭で実践する児童生徒も増えてきている。</p> <p>最優秀賞・・・荘野小学校 優秀賞・・・東野小学校、竹原小学校 特別賞・・・忠海小学校、忠海中学校、吉名小学校</p>	<p>平成30年度は実施しない。</p>
幼稚園教育公開研究会推進事業	<p>【主要目標】 幼稚園教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育むため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原西幼稚園 (9月27日) 	<p>「体を動かすことを楽しむ子どもを育てる」を研究主題とし、進んで体を動かして遊ぶようになるために、発達段階に即した運動遊びの年間計画を作成し、活動の内容や援助の工夫を図ることができた。また、園内研修会を計画的に実施し、教職員の指導力の向上に努めた。公開研究会では、市内の学校の教職員はもとより、市外の幼稚園、地域の方々、保護者の方々の多くの参加をいただき実施することができた。</p>	<p>『遊び 学び 育つひろしまっ子!』推進プランの趣旨を踏まえ、園児の豊かな心を育むための指導方法や場の設定等について幼稚園教職員研修の充実を図る。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
学力検査事業 1, 350千円	【主要目標】 児童生徒の学力を把握するとともに、課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 標準学力調査を実施し、その結果を分析し、学力向上を図る。	市内全小・中学校において（小学校1年生は除く）業者による標準学力検査を実施した。 各校において検査問題や意識調査等の結果の分析を行い、明らかにした児童生徒の課題を把握し、授業改善に生かすとともに、課題克服に向けた組織的な教育研究を進めた。また、他の学力調査等との比較を行い、より精度の高い分析を行いながら取組を進めることで、より効果的な取組を進めることができた。	B 標準学力調査を継続して実施し、その結果の分析を通して明らかになった課題を改善するために、さらなる授業改善を目指し、学力向上を図る。
体力テスト事業 330千円	【主要目標】 児童生徒の体力を分析し、課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 全学年体力テストを実施し、その結果をもとに体力運動能力向上を図る。	佐原市の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、今後の体力向上のための重点指導内容や全国の体力向上に係る取組の好事例を交流する等研修を行い、各校の取組の充実を図ることができた。 市内全小・中学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を受け、自校の課題や改善に向けた取組をまとめ、計画的に児童生徒の体力向上を推進することができた。	A 市内小学生、中学生の体力の課題について焦点化するとともに、その改善に向けて重点的に取り組む体力運動能力向上計画を作成し、計画的に実施する必要がある。
総合的な学習の時間等の推進事業 821千円	【主要目標】 小・中学校における総合的な学習の授業を充実させる。 【事業内容】 地域の方や、特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場体験学習等を推進する。	平成30年度の「広島版『学びの革新』アクション・プラン」の全県展開に向け、各学校において児童生徒がより主体的に学ぶことができるよう課題発見・解決学習の過程を取り入れた総合的な学習の時間の年間指導計画の見直し及び改善を行い実践した。また、地域資源を生かした人材を講師として招き、学習の充実を図ることができた。 中学校では、6月11日から6月15日の5日間、第2学年生徒が市内の約130の事業所で職場体験学習を行った。事後の生徒アンケートでは、コミュニケーション能力や主体的に取り組む意欲、郷土愛について事前アンケートよりも肯定的に自己評価をする生徒が多く、成果が現れている。	A 見直し・改善を行った総合的な学習の時間の年間指導計画をさらにブラッシュアップさせる。また、単元全体のどの時間に、どのような講師を招聘するか、さらに効果的な活用を探っていく。
教育相談事業 4, 059千円	【主要目標】 学校に対応できない複雑化・多様化するいじめ、不登校等の教育問題について相談・支援業務を実施し、児童生徒等の健全育成を図る。 【事業内容】 教育相談室において、不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。業務の一部を民間委託し、休日・夜間も相談業務を行う。	教育相談室に1名の非常勤教育相談員を配置し、不登校をはじめとする生徒指導上の問題行動に係る相談・支援を受けている。不登校児童生徒の学校復帰へ向けての学習支援等を行った。生徒の立ち直り支援に向けての活動も行ったりしている。 また、中学校3年生の進路についても、保護者や学校、関係機関と連携を持って、確実な進路保障を行うなど指導支援することができた。	A 教育相談室と学校、家庭との連携を密にし、児童生徒への学校復帰支援や立ち直り支援を三者で行い、より効果的なものへとしていく。

(2) 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
公民館運営事業 1,6,208千円	<p>【主要目標】 生涯学習の基本理念である、生涯いつでも「どこでも」「だれでも」を推進するため、自由に学習機会を選択して学習することができ、その学習成果が地域社会において適切に評価されるような社会をめざして諸条件を整備する。</p> <p>【事業内容】 ひとつづくり・まちづくりの学習拠点施設として、社会教育・生涯学習推進事業として各種講座を開設する。 ○ その他各種学級講座 《実施時期》 5月～3月 ○ 公民館まつり・産業文化祭 《実施時期》 11月～3月 ○ 公民館役員研修等 《実施時期》 5月～3月 ○ 子育て支援事業 《実施時期》 5月～3月 ○ スポーツ大会・スポーツ教室 《実施時期》 5月～3月 ○ 地域環境活動事業 《実施時期》 6月～3月 ○ 公民館だより発行 《実施時期》 毎月1回</p>	<p>生涯学習の理念に基づき、住民ニーズを把握して学習機会や情報提供を行っている。 また、公民館職員の資質向上のため、毎年、独自研修を実施しており、今年度は、今後予定されている公民館の地域センター化に伴う研修、意見交換(129.7.31)や広報研修(130.2.15)を実施した。</p>	<p>引き続き、独自研修の実施及び広島県教育委員会等が実施する研修会に参加して、公民館職員の資質の向上を図るとともに、社会教育・生涯学習を推進していく。</p>
成人式事業 630千円	<p>【主要目標】 新成人者を対象とした実行委員会委員を公募により募集し、成人者となったことの自覚を促し、保護者及び関係者(多くの市民)と共に祝福する。</p> <p>【事業内容】 ○ 式典(市長メッセージ、来賓挨拶、新成人誓いの言葉) ○ アトラクション</p> <p>【開催時期】 平成30年1月6日(土)</p> <p>【開催場所】 竹原市民館ホール</p>	<p>新成人者による実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を行った。実行委員会による会議を重ね、成人者の心に残り人生の糧となるような成人式を実施した。 安芸津出身で同年代且つ、今も地元を中心に活動されている歌手・石川真帆さんからの新成人に向けた歌のメールや、恩師等からのビデオレターの披露を行い、大変好評であった。また、実行委員会でプログラムや案内状の作成、ロビーの飾りつけを行い、手作り感のある成人式ができた。</p>	<p>平成30年度においても、新成人を中心に手づくりによる式を開催していく。</p>
自動車文庫事業 1,151千円	<p>【主要目標】 市立竹原書院図書館は、公共図書館として、全ての市民に図書を提供する環境整備を図るため、距離的、時間的、その他の事情によって直接図書館を利用することが困難な市民に、できるだけ図書の提供が均等化するように努める。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ3号」を運行し、図書の提供の拡大と充実を努めている。平成16年度から、市内全保育所・小学校へも巡回し、読書の推進を図っている。その他、市民への読書活動啓発として、市内のイベントに参加し、PR・貸出・返却・本の読み語りを実施する。</p> <p>【事業内容】 ○ 市内小学校を含む市内のステーションを、毎月1回巡回。 ○ 自動車文庫に約2,500冊(成人、児童向けを各50%)を積載して貸出・返却を行う。</p>	<p>ステーションを毎月1回巡回し、貸出、返却および本のリクエスト受付などを行った。 小学校巡回時には、わかたけ号種蔵の本以外に約500冊の絵本や児童書・紙芝居などを増冊し、児童生徒が多くの本に触れ、自分で選り借りることができるよう対応した。また、短い休憩時間内で、貸出、返却処理ができるよう職員を増員し、対応した。 全保育所・小学校・中学校・放課後児童クラブへの団体貸し出しを行い、各所へ本を搬送した(毎月本の入れ替えを行った)。 自動車文庫(移動図書館)を多くの方々に、利用していただく機会として市内のイベント(電源開発1日開放デー・ふくし健康まつり)に参加し、貸出・返却を行った。 ステーションに福祉施設を組み入れ、巡回し、入所者・作業者への本の貸出を行った。 ステーションまで来られない方や巡回日・返却日に都合が悪い方などへの対応として、忠海公民館に暫定的に返却箱を置き利用状況の把握を図った。</p>	<p>ステーションまで来られない方や巡回日に都合が悪い方などへの対応として、暫定的に設置した返却箱の利用が月10冊前後あることから、他の公民館・支所への配置を検討するとともに公民館との連携を考察していく。</p>

(3) たいれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充
実と有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
<p>学校体育施設開放事業</p> <p>1, 622千円</p>	<p>【主要目標】 学校等の体育施設（屋内運動場・夜間照明・グラウンド）を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持、体力増進に関心を高める。</p> <p>【事業内容】 学校体育施設（市内小・中学校11校、旧志海東小学校、旧志海西小学校、志海高等学校、竹原高等学校）に管理指導員を置き、地域住民のスポーツ活動を推進する。</p>	<p>学校開放施設16施設（市内小・中学校11校、旧小学校2校、高校2校）を利用状況に応じて、各90日から160日間開放し、幅広い年齢層が利用し、地域住民の健康増進や競技力の向上、生涯スポーツの推進を図った。</p> <p>A</p>	<p>継続して、体育施設の開放を実施し、利用者の健康保持、体力増進を図る。</p>
<p>スポーツ推進委員活動事業</p> <p>429千円</p>	<p>【主要目標】 スポーツの振興のため、地域住民に対しスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導・助言を行う。また、各種研修会・研究大会等にも参加し、相互の情報交流と資質の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市スポーツ推進委員総会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流流競技大会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員研修大会 ○ 広島県スポーツ推進委員研究大会 ○ 広島県女性スポーツ推進委員研修会 ○ 広島県総合マナジメン卜研修会 ○ 広島県新任スポーツ推進委員研修会 ○ 各地域のスポーツ振興の指導・助言 	<p>県内で開催された各種研修会等に出席し、スポーツ基本法の知識習得や国の動向などの最新の情報把握に努めた。 また、竹原駅伝競走大会等の各種スポーツ大会の運営協力や公民館主催の小学生を対象としたニュースポーツの紹介などのスポーツ振興に着手した。</p> <p>B</p>	<p>竹原市スポーツ推進委員定数不足のため、委員の補選を進めていく。 竹原市スポーツ推進委員定数17名に対し7名（竹原市スポーツ推進委員設置規則第3条（定数））</p>
<p>各種体育大会・行事運営事業</p> <p>5,468千円</p>	<p>【主要目標】 生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、住民一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持・増進、体力づくりに関心を高めるため、各種教室、大会行事等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市女性バレーボール大会 ○ 市民ハイキング ○ 竹原市民体育大会 ○ 竹原ロードレース大会 ○ 竹原市少年野球大会 ○ 芸南学童水泳大会 ○ 竹原市少年サッカー大会 	<p>竹原ロードレースは、幅広い年齢層が参加できるように14部門を設定し800名ものエントリーがあり、市外からの参加者も多く、県内の恒例行事として定着している。 青少年スポーツ活動育成事業では、少年野球大会、芸南水泳大会等や、市民ハイキング、社会体育行事を開催した。 市民体育大会も42回を数え、12競技部門で健康保持増進や親睦が図られた。チャレンジデーでは、13,776人が参加され4年連続で参加率50%を上回る結果となった。</p> <p>A</p>	<p>引続き体育大会、行事等を概ね実施するが大 会等の内容を精査し、自主運営等が可能か検討 する。</p>

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
体育施設管理維持事業 2,683千円	<p>【主要目標】 市内の体育施設を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ、自己の健康保持・増進について関心を深める。</p> <p>【事業内容】 市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事、スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づくりの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド ・体育館アリーナ……バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道、バドミントン、ソフトテニス、フットサル ・多目的グラウンド……ソフトボール、サッカー、野球、ゲートボール、グラウンドゴルフ ・テニスコート ・トレニングルーム ○ 竹原市営相撲場 ○ スポーツ広場……忠海・小梨・大井・宿根・田万里スポーツ広場 ○ 学校体育施設 ・グラウンド等……ソフトボール、野球、サッカー、テニス ・屋内運動場……バレーボール、ソフトバレー、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレー、卓球 	総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド体育施設において、体育館玄関の雨漏り修繕工事及び体育館トイレ照明をLEDに変更し、利用者の利便性の向上を図った。施設の管理については、指定管理者であるNPO法人バンブースポーツクラブにおいて、各種スポーツ教室・大会の実施や住民交流事業を開催し、体育・スポーツ振興を図った。 また、市内小・中学校のグラウンド照明修繕等を行い、施設の利用環境の向上を図った。	継続して、施設の適切な修繕を実施し、安心して使用できるよう維持管理を行う。
プロアスリートスポーツ教室事業 242千円	<p>【主要目標】 竹原市の子どもたちがスポーツを通じて夢や目標をもち、取組むことにより、競技力の向上と底辺拡大を目指す。また、指導者もトップ選手等の指導方法を学ぶことができ、指導力の向上・育成にもつながり、競技団体の組織強化と地域の競技活動の促進を図る。</p> <p>【事業内容】 NPO法人トップス広島の協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を開催する。 (NPO法人トップス広島の加盟団体) サンフレッチェ広島、広島東洋カープ、JTサンダース、ワクナガレオリック、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、NTT西日本ソフトテニス部、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエストレットドスバークス</p>	今回で7回目となるプロアスリート教室は、平成29年6月3日(土)にバンブー・ジョイ・ハイランドでNTT西日本ソフトテニス部によるソフトテニス教室を開催し、67名の参加があり、ソフトテニスのジュニアスポーツ育成を図った。	NPO法人トップス広島協力の得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を実施し、競技力の向上や人材育成に努める。

(6) 人材育成の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成30年度の取組方向
<p>学校教育における人材育成事業</p> <p>生涯学習・社会教育における人材育成事業</p>	<p>【主要目標】 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るための研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ○校長による人材育成計画の作成と竹原市教育委員会との協議 ○指導主事による学校訪問指導 ○竹原市教育委員会主催の研修会の実施</p> <p>【主要目標】 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ○「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した研修の実施 ○公民館職員研修の実施 ○図書館職員研修への参加、各種行事への参加 ○文化担当職員の研修への参加</p>	<p>人材育成を根拠とした市教委主催の研修会及び年間80回を超える指導主事等による学校訪問指導を計画的に実施し、学校経営基盤の確立、学校経営への参画意識の醸成、教職員一人ひとりの能力や適性に応じた指導力の向上を図ることができた。</p> <p>また、学校長が作成した人材育成計画に基づき、各種研修会へ計画的に教職員を推薦した。</p> <p>公民館の館長・主事・運営委員を対象に、基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に係る技能等を習得し、職員の資質の向上や情報交換を図るとともに、学習プログラムの企画（実践）力を身につけるため、職員研修を実施した。</p> <p>「親の力」をまなびあう学習プログラムについては、保育所・幼稚園・小中学校（PTA）等からの要望に基づき実施している。平成29年度は、平成30年2月16日（金）に真野小学校において保護者、教員を対象に実施した。図書館では、広島県教育委員会や広島県立図書館等が開催する図書館職員研修に参加し、情報収集や業務に活かしている。</p> <p>また、乳幼児への読み語りや小中学生に行うブックトークに伴う職員間の研修等を行い、図書館行事に対処できる人材の研修に努めている。</p> <p>文化担当職員の情報収集や資質向上を図るため、伝統的建造物群保存協議会総会、研修会等に参加し、文化財保存における課題や今後のあり方等について研修を行った。</p>	<p>ライフステージに応じて、教職員としての資質能力を効果的に向上させるために、研修内容の充実を図る。また、研修内容を持ち帰って校内で効果的に活用できるよう、研修の内容や方法を工夫する。</p> <p>また、授業力の一層の向上を図るため、効果的な学校訪問指導を行う。</p> <p>引き続き、生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、職員研修の確保に努め、資質の向上や人材交流につなげていく。</p>

5 評価委員の評価

【評価委員】	広島大学大学院名誉教授	岡 東 壽 隆
	元公立小学校校長	國 竹 鈴 子
	元PTA会長	亀 尾 善 隆

教育委員会の事務の点検及び評価を行うにあたり、平成30年6月5日に学識経験者3名により、次のとおり点検及び評価をいただきました。

【食育推進事業】

- 食育推進事業については、早寝早起き朝ごはんの取組が始まったころと比較し、学校の指導や食育に関するプリント配布するなどの情報提供により、朝ごはんの摂取率も高まっている状況ではある。しかし、朝ごはんを食べていない児童生徒もいづらか見受けられるため、基本的な生活習慣の確保に向けて、家庭との連携をより一層図ってほしい。

【小・中学校教育ICT整備事業】

- ICT機器の導入から一定の年数が経過したが、教員はICT支援員や推進リーダーを中心に、活用方法についての研究を重ねるなど積極的に取り組んでおり、児童生徒の思考力・表現力を育てる授業の充実が図れているとともに、教材もデータ化され、共有するなど教員の業務改善にもつながっていることは、高く評価できる。児童生徒は、学習意欲の向上が見られるなど、情報活用能力も身につけている様子がうかがえる。しかし、教員にとって、ICT機器の活用をすることが、押しつけ型とならないよう、より効果的な活用を続けて欲しい。
- プログラミング教育については、目標を掲げ、先進的に実施しており、平成32年度の本格施行に向け、今後のより一層の活用を期待する。
- ICT整備事業と関連して、図書室とコンピューター教室を一体化したメディアセンターを設置したことにより、児童の情報活用の場、主体的・協働的な活動に取り組める場として学習に取り組むことを可能としている。今後も、効果的な環境整備に取り組んで欲しい。

【外国語指導助手配置事業】 【「英語力向上による未来の人材育成」事業】

- 外国語指導助手（ALT）の増員配置、イングリッシュキャンプや竹原英語チャレンジの実施など英語力向上の取組を充実したことにより、児童生徒の基礎的な英語の聞く力及び話す力は、おおむね身につけており、一定の成果が出ている。また、平成32年度の指導要領改訂を見据え、既に小学校の外国語活動の授業数を増やすとともに、低学年から英語活動の授業を実施している。さらに平成30年から、書くことへの興味関心を持たせる

よう工夫を凝らした竹原英語チャレンジを行おうとするなど、先取りして取り組んでいる姿勢を評価する。平成29年度に実施したイングリッシュキャンプについては、児童生徒の感想からも、外国語に大変興味関心を持ち、楽しんだ様子がよく分かる。今後も中学生からの、英語学習におけるギャップを緩やかにできるよう、教科化に向けて充実した取組をして欲しい。

【公民館運営事業】

- 生涯学習の拠点である各地域の公民館においては、今後センター化が実施されることに伴い、関係課との連携のもと、一定の整理や説明が必要とされている。地域により課題はそれぞれ違うため、その地域にあったような形でのスタートを望む。

参考資料1

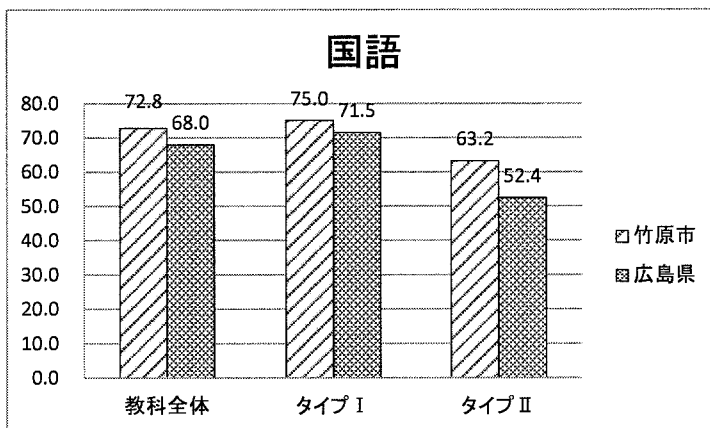
平成29年度の調査結果は次のとおりです。市内各校はそれぞれの結果を基に、改善計画を立て、一層の学力向上に取り組んでおります。詳細につきましては、各校のホームページ等をご覧ください。

実施日：平成29年6月13日(火) 実施対象学年：小学校第5学年，中学校第2学年 実施教科：小学校(国語，算数，理科)中学校(国語，数学，理科，英語)

平成29年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【小学校】

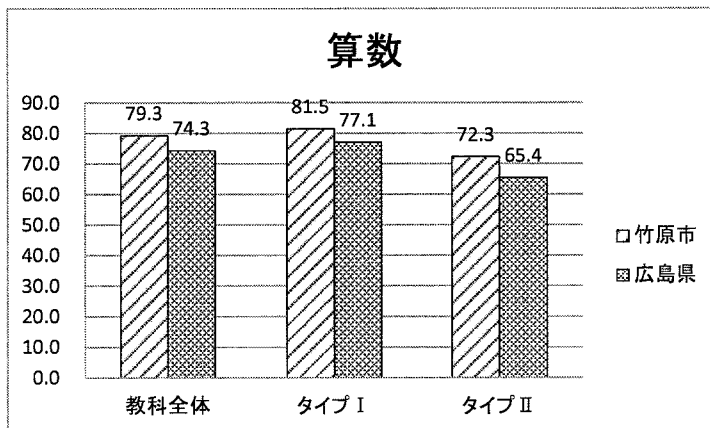
国語

	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	72.8	75.0	63.2
広島県	68.0	71.5	52.4



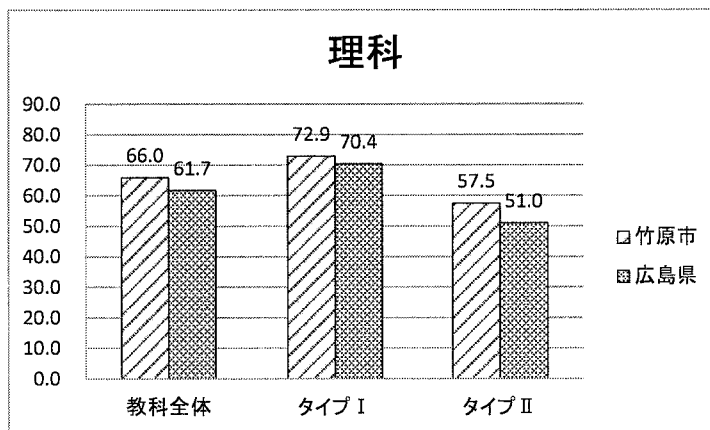
算数

	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	79.3	81.5	72.3
広島県	74.3	77.1	65.4



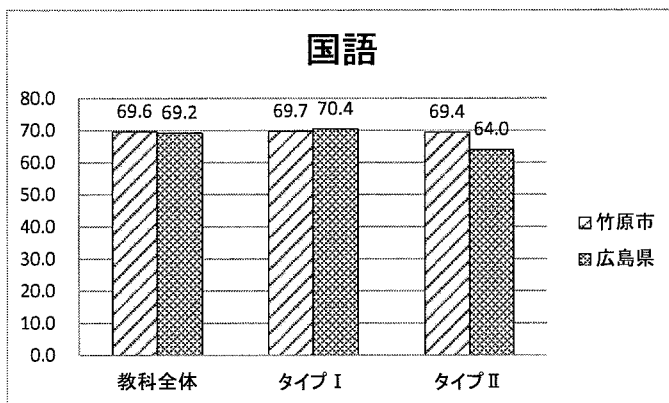
理科

	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	66.0	72.9	57.5
広島県	61.7	70.4	51.0

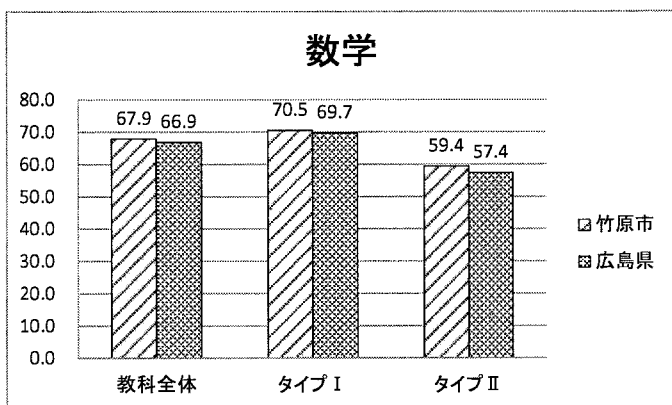


平成29年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【中学校】

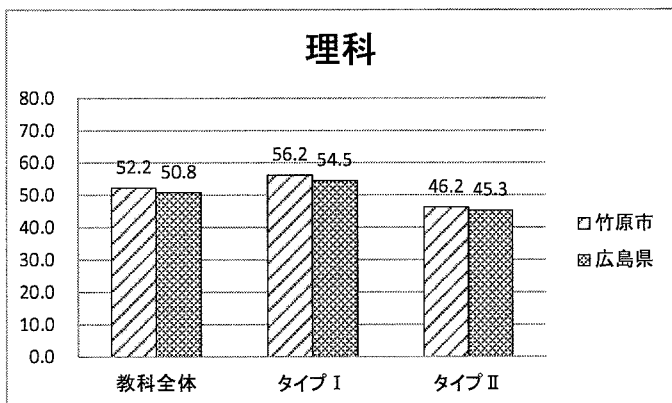
国語			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	69.6	69.7	69.4
広島県	69.2	70.4	64.0



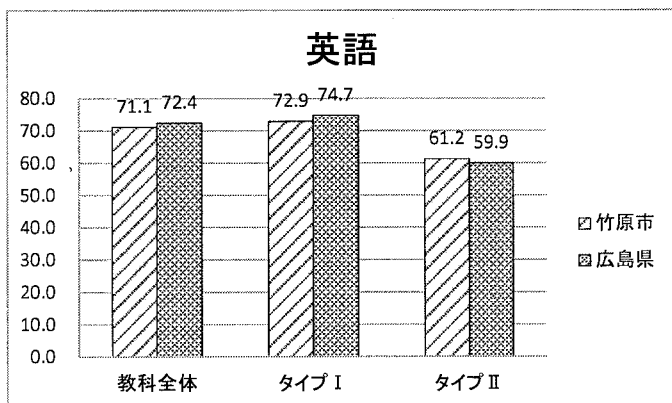
数学			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	67.9	70.5	59.4
広島県	66.9	69.7	57.4



理科			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	52.2	56.2	46.2
広島県	50.8	54.5	45.3



英語			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	71.1	72.9	61.2
広島県	72.4	74.7	59.9



平成29年度体力テストの結果

小学校第5学年
小学校第5学年男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H29竹原市	19.55	22.77	35.99	42.65	58.37	9.38	158.80	24.85	58.89
H28竹原市	19.01	22.66	36.45	45.09	62.94	9.12	155.87	23.21	59.15
H29広島県	16.84	21.60	34.31	44.41	56.09	9.20	155.27	25.20	56.88

小学校第5学年女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H29竹原市	18.33	22.68	39.41	42.46	51.05	9.68	156.28	17.36	61.29
H28竹原市	19.24	22.14	42.54	43.49	50.06	9.41	153.22	15.96	62.55
H29広島県	16.37	20.54	38.39	42.40	44.59	9.51	148.55	15.21	58.18

中学校第2学年
中学校第2学年男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H29竹原市	31.74	28.98	47.21	52.86	78.30	8.01	192.84	20.79	44.20
H28竹原市	32.03	30.98	48.61	55.23	86.37	7.74	198.01	19.74	46.57
H29広島県	30.91	28.48	46.20	53.12	78.60	7.94	192.43	21.18	43.31

中学校第2学年女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
H29竹原市	25.14	27.39	49.72	47.94	55.35	8.55	177.02	13.56	54.03
H28竹原市	27.11	29.29	51.68	49.80	63.17	8.60	181.98	14.02	57.26
H29広島県	24.35	25.20	48.22	48.38	58.75	8.69	172.19	13.80	52.24

平成27年度～29年度 生徒指導上諸問題の状況

暴力行為		竹原市		広島県	
		発生 件数	1000人 あたり	発生 件数	1000人 あたり
小学校	H27	1	0.9	469	3.1
小学校	H28	4	3.5	437	2.9
小学校	H29	2	1.9		
中学校	H27	3	5.1	647	9.2
中学校	H28	11	19.4	636	8.1
中学校	H29	6	10.7		

いじめ		竹原市		広島県	
		認知 件数	1000人 あたり	認知 件数	1000人 あたり
小学校	H27	2	1.7	742	5.0
小学校	H28	1	0.9	1,509	9.9
小学校	H29	10	9.4		
中学校	H27	4	6.8	532	7.6
中学校	H28	2	3.5	620	7.9
中学校	H29	15	26.9		

不登校		竹原市		広島県	
		人数	1000人 あたり	人数	1000人 あたり
小学校	H27	4	3.4	681	4.5
小学校	H28	4	3.5	719	4.7
小学校	H29	2	1.9		
中学校	H27	22	37.3	2,030	25.5
中学校	H28	22	38.8	2,077	26.3
中学校	H29	19	33.9		

参考資料3

図書館・美術館利用状況

(1) 竹原書院図書館利用状況

本館・視聴覚ライブラリー開館日数 238日

移動図書館車 82日

平成29年度 図書の利用

		本館	移動図書館	合計
個人貸出	登録者数	15,057	—	15,057
	貸出者数	23,534	5,602	29,136
	貸出冊数	116,347	21,231	137,578
団体貸出	登録団体数	256	—	256
	貸出冊数	9,487	28,903	38,390
停本所	停本所数	14	—	14
	貸出冊数	11,076	—	11,076
貸出冊数合計		136,910	50,134	187,044

(2) 美術館利用状況

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間利用者数	15,212人	12,827人	12,222人

アートギャラリー・池田コレクション

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
年間開館日数		270日	281日	270日	
展覧会件数		6件	5件	5件	
総入場者数		5,746人	4,767人	4,085人	
展覧会平均入場者数		958人	1,052人	817人	
展 覧 会 入 場 者	1日平均入場者数	21.3人	17人	15.1人	
	常 設 展	件数	4件	3件	4件
		開館日数	204日	244日	265日
		入場者数	2,434人	2,168人	3,759人
	企 画 展	1日平均入場者数	11.9人	8.9人	14.2人
		土日祝日平均入場者数	16.4人	10.8人	10.8人
件数		2件	2件	1件	
企 画 展	開館日数	66日	37日	5日	
	入場者数	3,312人	2,599人	326人	
	1日平均入場者数	50.2人	70.2人	65.2人	

文化創造ホール

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用日数	130日	137日	126日
展示会	48日	76日	47日
文化講演・講座	9日	0日	0日
演奏会等	2日	0日	0日
参加型イベント	4日	5日	2日
講習会等	32日	31日	47日
展覧会等準備日数	35日	25日	30日
利用件数	55件	44件	54件
年間入場者数	9,466人	8,060人	8,137人
1日平均入場者数	72.8人	58.8人	64.6人